

さいばん通信

J R 東海 労 大 阪 仕 業 検 査 車 両 所 分 会
No. 4 2015. 5. 29
発行責任者 松本 幸一
編集責任者 教 宣 部

管理者の陳述書を明らかにする！！こんな報告をしていた！

7、広瀬 賢一 助役の陳述書（抜粋）

平成24年6月20日、N700系新幹線電車（Z62編成）の仕業検査を担当していた渡邊社員は、作業実績書の前頭部外板点検の編成番号の記入を行わなかったため、同日21時30分頃、仕業申告詰所において、私は渡邊社員に対して注意指導を行いました。

その際のやりとりは以下の通りです。

〔仕業申告詰所にて〕

広 瀬：渡邊さん。

渡 邊：また、何かやった？

広 瀬：ここ、編成ないね。

渡 邊：抜けったか。広瀬助役ようみとるから。

広 瀬：何？試してるわけ？

渡 邊：そんなことあらへんし。すいません。

8、加古 和典 助役の陳述書（抜粋）

平成24年7月8日20時45分頃、庫3番線において、N700系新幹線電車（Z33編成）の仕業検査を担当していた渡邊社員は、パンタグラフ上昇の際に、BVハンドル投入前に架線電圧がゼロボルトであることの確認をすべきところ、これを行わなかったため、私は渡邊社員に対して注意指導を行いました。その際のやりとりは以下の通りです。

〔1号車運転台にて、パンタグラフ上昇作業時〕

渡 邊：BVハンドル投入。（ハンドルを入れる）

加 古：電車線の確認は！

渡 邊：あっ、忘れました。電車線表示灯「押」「滅灯」よし。（直ぐに押して確認する）

加 古：抜かしたらあかんやろ。

渡 邊：加古助役が珍しく付くから間違っしてもた。

加 古：抜かしたらあかんで。

渡 邊：すんまへん。

9、加古 和典 助役の陳述書（抜粋）

平成24年7月8日21時32分頃、庫3番線において、N700系新幹線電車（Z33編成）の仕業検査を担当していた渡邊社員は、作業終了の際に、作業表示灯の消灯前に標識灯の赤色点灯を確認すべきところ、これを行わなかったため、私は渡邊社員に対して注意指導を行いました。

その際のやりとりは以下の通りです。

〔作業表示灯前にて〕

渡 邊：庫3番線作業表示灯「仕業」「滅灯」よし。（作業表示灯を戻す）

加 古：標識灯の確認が先やろ。

渡 邊：（標識灯を確認して）標識灯「赤色」よし。ハンドル抜取は運転台できちんと確認しています。

加 古：手順は守らなあかんで、きちんとしいや。

次回もお楽しみに！！